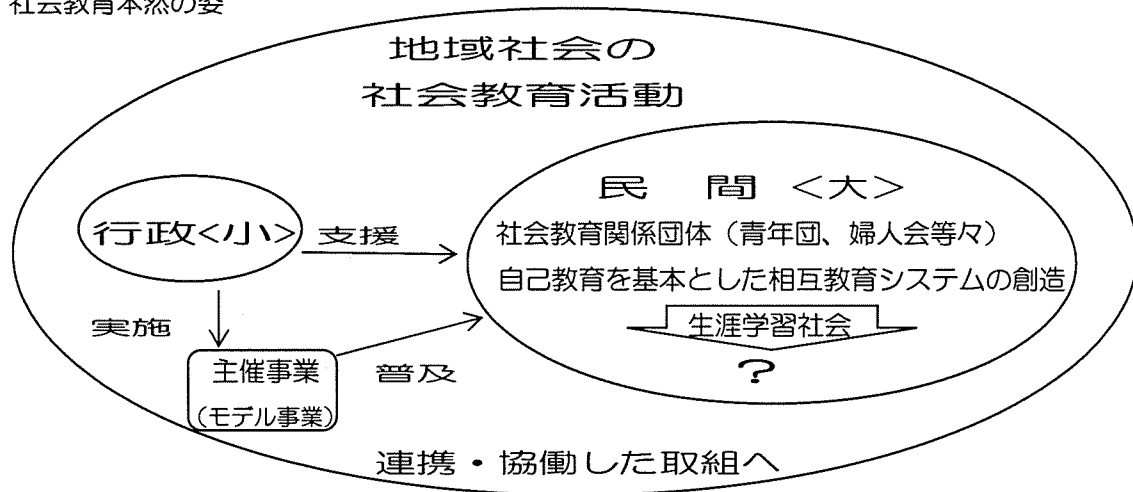


1 なぜ何のために、市民の団体を支援するのか

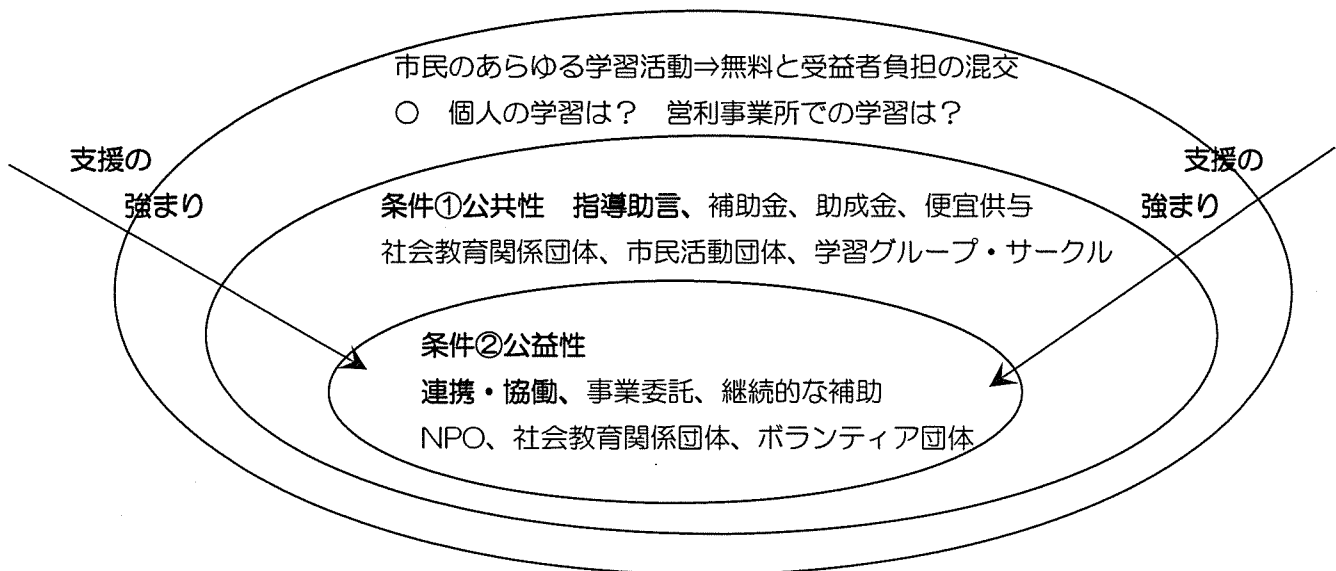
(1) 目的

[Empty rectangular box for purpose]

(2) 社会教育本然の姿



2 どのような市民団体や活動を支援するのか (支援の条件)



【重要】生涯学習格差への対応 ⇒ 障がい者、マイノリティー、低所得者等々の学習支援

(1) 公共性とは

(2) 公益性とは

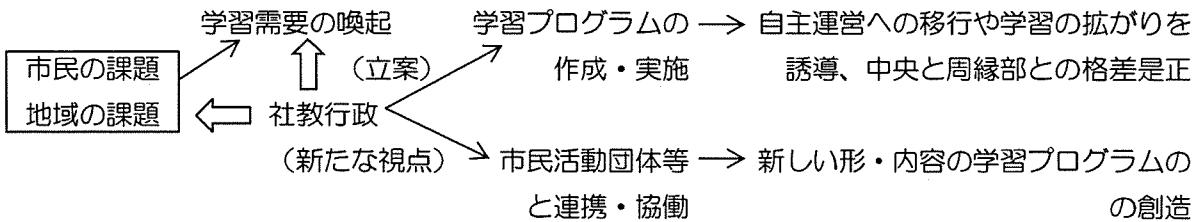
3 何をどのように支援するのか

(1) ひと、もの、こと、かね

(2) 指導・助言から連携・協働へ

4 今後社会教育関係団体や市民活動団体はどのように推移していくと考えられるか、行政はどのような対応が求められるか

(1) 社会教育事業の複線化を



(2) 予想される連携・協働のプログラム

- ① 趣味、教養、生活技能習得等の学習 ⇒ むなかた市民学習ネットワーク、清水市清見湊大学塾
- ② 学校との連携をどう進めるか
- ③ 家庭教育支援をどう進めるか
- ④ 高齢社会での安全・安心をどう進めるか

(3) 社会教育関係団体や市民活動団体が、ソーシャルキャピタル創造の主要な役割を担う

5 結局は、「生涯学習社会の実現をめざす社会教育事業をどう構築するか」に帰結する